

# 奈良県の医師・看護師不足を改善し、 県民に安心・安全の医療を 提供することを求める要請署名



奈良県知事 荒井正吾殿

年 月 日

要  
請  
趣  
旨

奈良県の医師・看護師不足は深刻です。奈良県の看護数は、人口10万人あたり763.2人（全国平均897.7人・全国41位）と全国平均を大きく下回っています。また、奈良県の医師数は、人口10万人当たり196.7人（全国平均201人）、産科医+産婦人科医については人口比で全国42位、小児科医が全国36位（04年度）という状況です。この医師・看護師の不足は、昨年起きた妊婦が転送先の病院で死亡する事態や、救急受け入れ困難で妊婦が死産するという痛ましい事態の背景になっています。また、医師・看護師の不足による病院の閉鎖、病棟の縮小もおこっており、地域医療に深刻な影響がでています。こうした危機的な状況を打開することは、県民の切実な要求です。医師・看護師の増員を求める意見書も、県議会ははじめ、35もの市町村議会で採択されており、県民が安心して医療が受けられるように、国への働きかけはもちろん、県として医師、看護師を増やすための施策、そのための財政保障を実現していただくよう要請します。

要  
請  
項  
目

1. 奈良県の看護師不足について、必要な調査を行い、その原因の分析、対策を検討する検討会を早急に設置し、奈良県の看護師需給計画を見直すこと。
2. 静岡方式の導入など潜在看護師の再就業支援策の抜本的見直すこと。  
また、再就業ならびに離職予防のため、院内保育所の拡充をすすめること。
3. 看護師修学資金制度を大学や公立看護学校も対象にするなど拡充すること。  
県立看護学校の専任教員数を8名とすること。
4. 奈良医大の医学部定数を10名（国の方針の5名増に加え、すでに国の要請で削減した5名の復活）増やすこと。



氏 名	住 所

※この署名は国会に提出する以外には使用しません。